

ボランティア活動のすすめ



No.34のNEWS LETTERでは、第4回基礎研修会の様子をご紹介しました。

その中で講師をしていただいたNPO法人とちぎユースサポーターズネットワーク代表理事 岩井 俊宗 様のお話の中で「ボランティア(活動)」についてお話がありました。社会教育を進めるうえで欠かすことのできない「ボランティア(活動)」について考えてみたいと思います。

★そもそもボランティアとは “自発的な意志に基づき他人や社会に貢献する行為”を行う人。(=社会的な使命感を持ち行動する人)。ということは、ボランティア活動とは、ボランティア(社会的使命感のある人)による自発的な活動ということになります。

★ボランティア活動の性格として 次の4つが考えられます。

「自発性(主体性)」⇒自ら進んで行動する。 「社会性(連帯性)」⇒ともに支えあい、学び合う。
「無償性(無給性)」⇒見返りを求めない。 「創造性(先駆性)」⇒よりよい社会をつくる。

とはいえ、「誰かのお役に立ちたい」「何かお手伝いできないか」などの気持ちがあっても、ニーズ(求めているもの)がなければ成立しないこともあります。それでも様々なボランティア活動に積極的に参加していくことで、新たなつながりが広がっていくこともあります。それでも現実的には『なかなか自ら進んで飛び込んでいくには勇気が…。』ということになります。その橋渡し役が各自治体やNPO法人ということになります。

「各自治体の窓口はどこ?」「NPO法人って?」という疑問が湧くのではないのでしょうか?各自治体の社会教育課や社会福祉協議会に連絡をとってみるのも一つの方法です。また各公民館に足を運んでみて問い合わせてみるのもおすすめです。そこから紹介していただけることもあります。

★ボランティア活動 ボランティア活動には、個人で取り組むことができる献血や骨髄バンクへの登録、各種募金や義援金への協力などもあります。また各種講習会や講座の運営に携わることやNPO法人などが運営する子ども食堂などをはじめ様々な活動、地域の一員として学区内の登下校の見守り隊、地域のごみ拾いボランティアなど、無理のない範囲で行えるボランティア活動もあります。ちなみにこの三館(生涯学習推進センター、図書館、文書館)でも、当センターの映画ボランティアや生涯学習ボランティアをはじめ、図書館ボランティア、文書館ボランティアや、図書館の前の整備をしていただいていますガーデンボランティアなど、趣味や経験などを生かせるものもあります。

